

機械器具 49 医療用穿刺器、穿刺器及び穿孔器
管理医療機器 単回使用自動ランセット 37243002
(開放型採血用チューブ 34590000、救急絆創膏 34864000)

採血キットN

再使用禁止

【警告】

1. 使用方法

- 1) 感染のおそれがあるため、採血前に穿刺部位の消毒を必ず行うこと。

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は、指先から血液検体を採取するための医療機器等を組合せて包装した以下の構成からなる採血キットである。



- ①ランセット
- ②キャピラリー
- ③絆創膏
- ④補助テープ
- ⑤不織布パッド

2. 材質

| | |
|--------|---------------------------|
| 穿刺針 | ステンレス鋼 |
| キャピラリー | 酢酸プロピオン酸セルロース |
| 絆創膏 | 塩化ビニル、アクリル系粘着剤、不織布、ポリエチレン |

【使用目的又は効果】

指先から微量の血液検体を採取するために用いる採血キットである。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) 穿刺部位をアルコール綿で拭き取る、又はお湯、石鹼水などで洗い清潔にし、消毒します。
- 2) ランセットの保護キャップを持ち、メインボディを回転させてねじ切り、取り外します。
- 3) 補助テープで穿刺部位を囲います。
- 4) 穿刺部位が乾燥している状態で穿刺部位にランセットを押し付ける形で持ち、穿刺部位に押し当てます。
- 5) ランセットの穿刺ボタンを押すと作動し、穿刺針が出ます。作動するまでランセットを穿刺部位に押し当てます。
- 6) 穿刺後、軽くマッサージし、キャピラリーを用いて血液を採取します。毛細管現象にて血液がフィルターまで達すると採血は完了です。
- 7) キャピラリーのピストンを押し、採取した血液をチューブ等に注入します。
- 8) 穿刺部位に絆創膏を貼ります。必要に応じて不織布パッドで汚れを拭き取ります。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 本品は複数回使用を防ぐため、穿刺ボタンは一回しか押せない構造になっています。

2. 使用前に保護キャップが外れているものは使用しないでください。
3. 保護キャップは引っ張らず、ねじ切ってから取り外してください。
4. 保護キャップが外れにくい場合は、無理に使用しないでください。
5. 保護キャップを外した後は、速やかに使用してください。
6. 穿刺の際は作動するまで穿刺部位と本品を動かしたり、離したりしないようにしてください。
7. 採取時は、キャピラリーのピストンに触れないように水平に保持しながら採血してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 穿刺前に、必ず流水でよく手を洗うこと。
- 2) 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがある。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
- 3) 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがある。
 - ・脱水状態
 - ・ショック状態
 - ・末梢循環障害
- 4) 組織が薄い部位への穿刺を行うと、組織を貫通した針で指を穿刺し、血液を介した感染のおそれがあるため、添付文書上にある穿刺部位を守ること。
- 5) 使用前に本品のメインボディから針先が出ている場合は使用しないこと。
- 6) 創傷部、粘膜には使用しないこと。
- 7) 子供の手の届かない場所に保管すること。
- 8) 採取前にキャピラリーのピストンを押さないこと。[ピストンが既定の位置にない場合、規定量を注入・滴下できない場合がある。]
- 9) キャピラリーの先端を穿刺部位に接触して使用しないこと。
- 10) 絆創膏の使用により、発疹・発赤・かゆみ等があらわれた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること。

2. 不具合・有害事象

- 1) その他の不具合
 - (1) 針先の露出
- 2) その他の有害事象
 - (1) 穿刺部の炎症

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
[自己認証（自社データ）による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売（お問い合わせ先）
ニプロ株式会社
フリーダイヤル：0120-226-410
受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造
ニプロ医工株式会社



ニプロ株式会社